

西条自民
クラブ
代表質問



行 元 博
議員

7つの政策の実現に向けて

どう取り組む？

問

市長就任時に7つの政策を掲げていた中で、令和8年度の施政方針において、ひうち地先の産業廃棄物処理用地への企業誘致による経済活性化、市立周桑病院等における医師確保や救急医療の強化・経営改善、小・中学校の再編について、着実に道筋をつけていくことに注力すると述べていたが、これらの政策の進捗状況はどのようになっているのか。

答

企業誘致による経済活性化については、産業廃棄物処理用地であるひうち地区の売却公募の開始に合わせて、県と緊密に連携しながら強力な誘致活動を展開している。

市立周桑病院の医師確保、救急医療の強化については、愛媛大学医学部との新たな寄附講座の開設により、外科診療の体制充実などに踏み出している。また、休日夜間急患センターの救急医療に関する経営改善については、想定した収益が変動することを考慮し、そのつど費用などの見直しをするなど、不断の経営努力を行っている。

小・中学校の再編については、西条市学校適正規模・適正配置等審議会からの答申を重く受け止め、保護者や地域住民の声を丁寧に向いながら、地域の発展も念頭に置き、再編に向けた準備を進めているところである。

学校規模等適正化に向けた

今後の具体的な検討内容は？

問

地域の声だけでなく、子どもたちやその保護者、学校関係者の声や意見を聞き入れながら、児童・生徒にとって最善となる教育環境の実現を目指して、学校適正規模・適正配置などに取り組んでいたきたいが、今後の具体的な検討内容とスケジュールについてはどのように考えているのか。

答

まず、令和8年3月末を目標に、西条市学校適正規模・適正配置等審議会の答申を踏まえ、今後の進め方を含めた基本方針（案）を公表し、パブリックコメントを実施する予定である。その後、基本方針に基づく基本計画（案）を公表し、パブリックコメントを実施した上で、令和8年中の策定を目指す予定としている。策定後、各地区での説明会を通じて具体的な内容の共有と意見交換を行い、検討に向けた同意が得られた地域から地元協議会（仮）を設置し、より具体的な協議を進めたい。更に、協議が整った場合には、準備委員会を設置し、必要な環境整備についての更なる協議や関係条例の改正などを進めながら、円滑な統合の実施を目指したい。

夢みらい
クラブ
代表質問



真 鍋 頭 伸
議員

施政方針及び当初予算への

市長公約の反映は？

問

本市の人口は10万人割れという新たな局面を迎える中、市長公約がいつ、どのように実現されるのか市民の関心は高い。そこで、令和8年度施政方針及び当初予算において公約をどのように位置付けているのか。

答

市長公約は市民とのたいせつな約束であり、令和8年度当初予算は、公約を具現化し、未来への投資と現在の暮らしの安心を確かなものにする編成とした。

特に、未来を担う子どもたちを社会全体で支える子育て支援を最重要課題と位置付け、新たに1か月児健康診査の公費負担化や小学校給食費の負担軽減、医療的ケア児保育支援や不登校支援員の配置等に取り組むこととしている。また、市民の健康づくりと医療体制の充実では、女性の健康応援プロジェクトの推進や医師不足対策を進めることとしている。更に、物価高騰の影響を受ける中小企業への支援や企業誘致、新規就農者の確保などの産業振興にも取り組み、地域経済の活性化と市民生活の安心につなげていきたい。